

令和4年度も10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が実施されました。コロナ禍や物価高騰など、厳しい社会情勢の中でも、多くの皆さまにご協力いただきました。本当にありがとうございます。

赤い羽根共同募金は、集まった募金の約8割が久留米市内で、残りの約2割が福岡県内や事務費として活用されています。

赤い羽根共同募金
(一般募金)

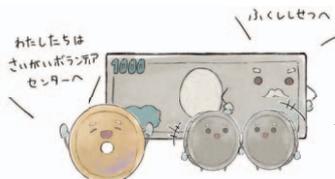
57,156,742円

【募金期間】
令和4年10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金
歳末たすけあい募金

実績報告

約2割



※福岡県内や事務費として活用

広域配分

- ・県内入所福祉施設等へ **6,286,964円**
- ・災害等準備積立金 **2,176,961円**

事務費

- ・校区分会募金推進費 **2,749,000円**
- ・支会事務費 **1,832,190円**

約8割



※久留米市内で活用

ボランティア団体への補助等 **3,537,000円**

校区の福祉活動への補助等 **37,268,000円**

市社会福祉協議会広報事業等 **3,306,627円**

久留米市は小学校校区単位で募金活動を行っており、各校区で集められた募金の半分は、翌年にその校区の福祉活動に活用されています。

見守り訪問活動・いきいきサロン・子どもと高齢者の交流事業など、共同募金を活用した活動は様々です。各校区の活動の様子は、市社会福祉協議会が共同募金を活用して作成した『くるめのおたからあつめました』地域福祉活動事例集』でも紹介しています。下記からご覧ください。

その他、久留米市内で活動されているボランティア団体への支援や、広報紙『くるめ福祉』などにも共同募金は活用されています。

また、残りの約2割は、福岡県内の福祉施設の車両や備品購入等に活用されたり、大規模災害が起こった際に被災者支援ができるよう、災害等準備金としても積み立てられています。

久留米市でも近年、大雨による被害があり、災害ボランティアセンターの設置など、被災者への支援を行う場合にも共同募金が活用されたこともありました。

『くるめのおたからあつめました ~地域福祉活動事例集~』

各校区の活動を知りたい方はQRコードからアクセスください。

※事例集には、赤い羽根共同募金を使っていない事業も一部掲載されています。ご了承ください。

〔赤い羽根共同募金 特集〕